



NO. 7
2020.3.4

ぞう組さん
おかえりなさい！！

3月2日

復旧工事の1期が終了し、4か月半ぶりに元の生活が戻ってきました。玄関を入ると床のあたたかさにホッとします。1階奥の部屋はこれから工事なので使用できず、幼児クラスの生活はお昼寝の場所や雨の日の過ごし方など、まだ完全には元に戻らない部分もありますが、やっとひと段落です。これまで、多くの人に支えて頂きここまで来られました。

保護者の皆様と一緒に乗り越えて来ました。

3月1日は、原状復帰のお手伝いありがとうございました。

棚を並べての耐震補強や園庭の雨除けシートの片づけ、塩素での棚拭きなどお手伝いいただきありがとうございました。

引っ越し業者の倉庫に保管されていたロッカー類ですが、外側にカビが発生していました。十分乾かして使えれば・・・と思っていたのですが、やはり中に水を含んでいたようで、ロッカー類も新しく作り直しになります。

ぞう組さん おかえりなさい

3月2日に一番嬉しかった事は、ぞう組が戻ってきたこと。一人ひとりに「おかえり」と声をかけると、満面の笑みが返ってきました。奥沢西保育園にいた頃は、私が訪ねて行っても“あー、またきたの”という感じで、すっかりその生活に馴染んでいたように見えてましたが、この日の笑顔は「安心」と「嬉しさ」がたっぷりの本当に良い表情で“ここがぞう組の居場所”である事を改めてかみしめ感動しました。この日の早番担任は「いやー、やっぱりぞうぐみがいると違う。遊びをリードしてくれる。」と、安心した表情でした。これまで、ぞう組の代わりに年長になっていたきりん組の子どもたちの表情も、柔らかいように感じました。何より、仲良しだった異年齢の仲間が、これまでと何も変わらずにくっついてケラケラ笑っていた姿に「そっかー、そうだよね！」と嬉しく安心しました。子どもたちは子どもたちなりに、これまで与えられた場所で自分の居場所を探し頑張っていた。(もちろん楽しんで生活はしていましたが・・・)でも、やっぱり今までの生活が一番安心して自然体の自分でいられる姿なんだと実感しました。(いろいろ心配しましたが・・・)

2階は寂しい・・・、でも

2階のホールは、平常に戻りがらんと広々。ひよこ組の担任は、「さびしいな・・・」と静かになった環境に複雑な思いです。ひよこ組が一番端の部屋で落ち着いた環境で、と当たり前のように考えていましたが、幼児クラスの子たちと関わってきたこれまでの時間は、ひよこ組の子たちにとっても貴重な時間でした。(もちろん、通り道になっていたひよこ組の廊下は、良い環境とはいえませんが。)非常事態でしたが、大人同士も子ども同士もクラスの枠を超えてつながって来られた、これからは“階段と鍵の付いた扉”が障壁になりますが、オープンな保育園環境の良さはこれからも意識して継続していきたいと職員一同確認したところです。その証拠に、1階に生活を移したその日にも2階のお部屋に幼児クラスの子の姿がありました。